



# 一中だより

福生一中ホームページ <https://fussa-1j.hs.fussa.school/>

学校の日々の様子をブログにて紹介しています。

12月号

令和6年12月2日発行



## 目標がその日その日を支配する

副校長 田中 洋介

右の詩は、大分出身の教育家・後藤静香(せいこう)さんという方の「第一歩」という詩です。

私がこの詩に出会ったのは、横浜高校野球部元監督渡辺元智さんを通じてです。横浜高校野球部といえば、元大リーグレッドソックス投手松坂大輔さん、ソフトバンクホークス近藤健介選手など数多くのプロ野球選手を輩出し、甲子園で春夏通じて5回の優勝を誇る高校野球の名門です。その横浜高校野球部のモットーとして、その卒業生に今でも大切にされている言葉が、この詩なのです。

目標を大きくもつことの意義が、この詩には込められています。目標が小さければ、最初の一步は、それほどの覚悟は入りません。逆に、目標が大きければ、最初の一步をととても大切に、覚悟を決めて臨まなければいけません。「どこまで行くつもりか」「どこまでのぼるつもりか」つまり、目標をどのように設定するかによって、同じ一步でも大きな違いが生まれてくるのです。目標がその日その日の自分の心構えや行動を支配する(決める)のです。**毎日の生活を充実したものとするためには、どのような目標をもつかが極めて重要**なのです。

これは、中学校生活においても言えることです。もし、目標がなければ、ただ何となく毎日を過ごしてしまう。目標をもち、その実現のために毎日目的意識をもって授業や行事、部活動など、一つ一つのことに取り組んできた人とは、卒業時に学習やその他の経験で大きな差ができてしまうでしょう。大きな可能性を秘めている一中生には、ぜひ大きな目標をもち、その目標の実現に向かって一日一日意味のある生活を送ってほしいと思います。

12月は、全学年で面談週間があります。この面談が、子どもの目標を確認し、その実現のためにどのように日々の生活を送るべきかを子どもと保護者、学校が共に考える場になれば幸いです。

12月は、全学年で面談週間があります。この面談が、子どもの目標を確認し、その実現のためにどのように日々の生活を送るべきかを子どもと保護者、学校が共に考える場になれば幸いです。

11月28日に、おやじの会の皆さん、生徒、教員、CS委員、保護者、地域の方々と校庭の落ち葉掃きを行いました

十里の旅の第一歩

百里の旅の第一歩

同じ一步でも 覚悟がちがう

三笠山にのぼる第一歩

富士山にのぼる第一歩

同じ一步でも 覚悟がちがう

どこまで行くつもりか

どこまでのぼるつもりか

目標がその日その日を支配する

(注)

- ・里…長さの単位。1里=約3.9km
- ・三笠山…奈良県にある標高297mの山

